

# 国保財政シミュレーション（保険給付費以外）※6年度決算反映分

年度	①保険税 現年度分	保険税 滞納分	増税額	②法定 繰入金	③法定外 繰入金	④県交付金等 (給付費分を 除く)	⑤基金 繰入金	⑥繰越金	⑦諸収入	⑧歳入合計	A	⑨納付金	X. 激変 緩和額 (参考値)	⑩総務費	⑪保健 事業費	⑫償還金 等	⑬その他 事業費	⑭歳出合計	差し引き ⑮(⑧-⑭)	1人当納 付金額
30	478,693,240	25,932,229		287,724,685	122,000,000	42,105,000	0	39,103,823	8,309,581	1,003,868,558	7,176	821,468,206	0	59,727,746	30,716,262	61,219,622	15,883,339	989,015,175	14,853,383	114,474
1	476,296,242	24,217,883		294,480,073	47,000,000	41,386,000	0	31,328,804	23,379,167	938,088,169	6,592	758,705,958	69,459,904	67,462,036	25,923,610	17,113,989	39,481,102	908,686,695	29,401,474	125,559
2	469,788,080	29,500,048		300,771,423	50,000,000	93,011,000	0	77,253,885	8,703,503	1,029,027,939	6,323	804,775,294	17,116,361	63,579,371	22,550,652	52,809,261	49,148,319	992,862,897	36,165,042	129,979
3	465,553,233	21,307,747		315,260,048	50,000,000	69,292,000	0	47,098,543	8,839,416	977,350,987	6,423	816,921,275	635,877	61,665,015	18,314,564	18,201,294	21,870,418	936,972,566	40,378,421	127,285
4	480,101,082	18,412,003		294,127,782	40,000,000	61,051,000	0	81,860,501	7,582,336	983,134,704	6,069	780,381,419	0	57,450,596	24,173,762	52,036,915	14,168,788	928,211,480	54,923,224	128,578
5	455,450,420	16,078,161		296,496,970	40,000,000	68,991,000	30,000,000	53,035,487	6,233,716	966,285,754	5,855	789,018,313	0	61,167,603	23,792,054	101,000	20,169,796	894,248,766	72,036,988	134,760
6	456,474,523	16,157,696		289,900,848	30,000,000	56,038,000	20,000,000	37,932,571	45,196,520	951,700,158	5,444	768,377,642	0	57,415,842	25,018,617	1,613,000	13,430,467	865,855,568	85,844,590	141,142
7	438,800,000	18,000,000		305,925,000	30,000,000	55,779,000	20,000,000	84,791,983	14,268,000	967,563,983	5,326	765,671,216	0	81,430,000	33,485,000	5,500,000	26,852,000	912,938,216	54,625,767	144,352
8	434,412,000	16,596,000	8,000,000	297,665,025	20,000,000	65,000,000	20,000,000	54,625,767	7,000,000	923,298,792	5,113	754,853,104	0	60,000,000	26,000,000	0	24,703,840	865,556,944	57,741,848	147,635
9	437,987,880	15,301,512		289,628,069	16,017,396	65,000,000	10,000,000	57,741,848	7,000,000	898,676,706	4,908	741,140,540	0	60,000,000	26,000,000	0	22,727,533	849,868,072	48,808,633	150,993

※1. ①保険税は、現年度分、滞納分ともに収納(決算)見込額を計上（直近の平均減少率を採用）

増税額：令和1年度以降、毎年見直し（県算定の標準保険税額に達するまで収納見込額の2~3%の範囲内で増額）を行い赤字補填を解消する。

※2. ②法定繰入金は、一般会計繰入金の内、その他の繰入金（法定外）以外を計上し、2.7%減少で計算。

※3. ③法定外繰入金（赤字繰入）は、保険税が標準保険税額に達するまで徐々に減額していくものとする。それ以降は、保健事業費（国県の負担金等を控除した額）及び地方単独事業影響額として繰入れる。なお、これら保健事業費等の繰入は削減すべき赤字とならない。

※4. ④県交付金等は、特別交付金として特別調整分(国分)、繰入金2号分(県特調分)、努力支援分、特定健診負担金(費用の2/3)の見込を毎年度計上

※5. ⑤基金繰入金は、激変緩和の縮小及び終了により財源が不足する年度に繰入れることで保険税の増税と赤字繰入を抑制する。（8年度当初残高は約8千万円）

※6. ⑦諸収入は、令和6年度実績を参考に計上。また使用料及び手数料をここに加えている

※7. A=各年度平均被保険者見込み数（年齢到達による後期高齢者への移行が増加するため、減少率0.96を採用）

※8. ⑨納付金：5~6年度までは前年度1人当納付金額に県推計値を基準に算定した上昇率を乗じ、8年度以降は直近5カ年平均の上昇率を乗じて毎年度加算計上

※9. X. 激変緩和額：県では増加分全てを緩和する財源が乏しいため、期限を5年度までとし、緩和基準の一定割合を大幅に見直したことから4年度以降、当町は対象とならないと推計

※10. ⑩総務費は、職員給与や賦課徴収費、事務費、電算委託料等で、主に配属職員の影響等で増減するため3カ年平均決算額を基本に見込額を推計し同等額を計上

※11. ⑪保健事業費は、29~元年度で事業内容や対象者数を見直しているため平均値ではなく元年度決算額に近い数値を計上

※12. ⑫償還金等：30年度分は県単位化前の国支出金等分だが、元年度以降は県（給付費）交付金分で、確定後の繰越金で精算されるため未確定の8年度以降は（歳入歳出共に）未計上

※13. ⑬その他事業費は、出産育児一時金、葬祭費、給付費審査支払手数料等の合計に、過去3年間の算定値を採用

※14. ⑯の標準保険税額は、納付金等の事業費に必要な県算定の保険料率による年税額（8年度以降は、前年度確定関係数値の比率による推計値）

①+増税額（赤字補填等なし）	⑯標準保険税額
1年度	476,296,242
2年度	469,788,080
3年度	465,553,233
4年度	480,101,082
5年度	455,450,420
6年度	456,474,523
7年度	438,800,000
8年度	442,412,000
9年度	437,987,880